

講義コード
1112501-1
授業科目名
経済学 I
授業科目名（英字）
Economics I
時間割
後期 月曜日 2校時 L-4 2 3
対象年次及び学年
2 年次
担当教員
河合 史子
ナンバリングコード・水準
ナンバリングコード・分野
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー (DP)
bc
ナンバリングコード・提供部局
L
ナンバリングコード・対象学生
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応

ナンバリングコード・授業形態
Lg
ナンバリングコード・単位数
2

関連授業科目
履修推奨科目
学習時間
講義90分 × 15回 + 自学自習（準備学習 3 0 時間 + 事後学習 3 0 時間）
授業の概要
本授業ではミクロ経済学を中心にお金や価値・価格の決まり方などについて学ぶ。 お金とはなんなのか？といった問いをかたわらに持ちつつ、経済学のテキストを使いながらミクロ経済学の基礎的な知識の習得を目指す。
授業の目的
ミクロ経済学における基礎的な概念を理解することで広範な人文・社会・自然に関する知識が習得できる。 また、学んだ概念を用いながら実践的な知識として習得できる。
到達目標
到達目標： 1. ミクロ経済学の基礎的知識を習得する 2. 経済学の概念を実践的な形式で体験的に理解する
成績評価の方法
成績評価の方法： ・授業内でのミニテスト：35%（到達目標1に対応） ・授業への貢献・事前・事後課題：30%（到達目標1・2に対応） ・最終レポート35%（到達目標1に対応）
成績評価の基準
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。 優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。 良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。 可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。 不可（60点未満）到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。
授業計画並びに授業及び学習の方法
第1回：イントロダクション（経済学とは、社会学との違い） 第2回：消費者余剰 第3回：需要曲線 第4回：機械費用・生産者余剰 第5回：供給曲線 第6回：均衡価格 第7回：前半の振り返り 第8回：ミニテスト、採点 第9回：お金と希少性 第10回：経済システム 第11回：市場 第12回：市場の失敗 第13回：比較優位と絶対優位 第14回：貿易と比較優位 第15回：まとめ（最終レポート準備） ※本科目は「社会学、経済学」区分における一般的包括的内容を含む。第1回-5回に一般的包括的な内容を網羅する。 ※この科目は対面形式で実施することを基本としますが、状況によってオンデマンドやオンライン形式に変更する可能性があります。授業の進捗状況によってシラバスの内容が前後したり、変更になる可能性があります。 【授業及び学習の方法】 講義内容の理解を深めるためのワーク（ディスカッションなど）を組み合わせた形式の授業。 【自学自習のためのアドバイス】 前半部分で扱う授業内容の習得状況を確認し評定するためのミニテストを途中で実施します。 最終課題では授業で学んだ概念を使いながら、どのように日常生活やメディア等で報道されているニュース・企業活動等と紐づけられるかを検討し、論じるレポートを作成します。 第1回：経済学と社会学の違いについて考える（４時間） 第2回：消費者余剰に関する関連文献を読み、消費者余剰の算出ができるようにする（４時間） 第3回：需要に関する文献を読み、需要曲線の特徴について理解する（４時間） 第4回：機械費用に関して身の回りの事例を探す（４時間） 第5回：供給に関する文献を読み、供給曲線の特徴について理解する（４時間） 第6回：均衡価格に関する文献を読み、価格がどのように決まるか説明できるようにする（４時間） 第7回：第１回～６回までの授業内容を復習しミニテストに備える 第8回：ミニテストの結果を振り返り、学習が不足していた内容について補う（３時間） 第9回：お金の誕生について文献を読み、理解する（３時間） 第10回：経済システムに関する文献を読み、説明できるようにする（４時間） 第11回：市場に関する文献を読み、説明できるようにする（４時間） 第12回：市場の失敗に関する具体的な事例を調べる（３時間） 第13回：絶対優位と比較優位の違いについて文献を読み、説明できるようにする（３時間） 第14回：優位性と貿易に関する関連文献を読む、最終レポートのテーマを決める（５時間） 第15回：これまでの授業内容を復習し、レポートに関して調べて考えを深める（５時間）
教科書・参考書等
教科書は使用しません。必要に応じて授業中に以下含めた参考資料を配布します。 ・グレゴリー・マンキュー（2019）、「マンキュー入門経済学」、東洋経済社 ・デーヴィッド・A・メイヤー（2022）、「アメリカの高校生が学んでいる経済の教室」、SB creative
オフィスアワー
授業終了後(水曜12:00-12:30)、教室において（他の時間帯を希望の際にはメールなどで連絡をください）。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
授業において扱った概念や、グラフの読み取り方などの習得度合いを図るために、途中でミニテストを実施します。
参照ホームページ

メールアドレス
教員の実務経験との関連
特記事項
障がい等により本授業の受講に際し特別な配慮を要する場合は、所属学部・研究科の学務係（医学部・医学系研究科は学生係）又はバリアフリー支援室に事前に相談してください。